



大船渡水産振興センター「復興板」

平成29年6月30日発行 第54号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成29年5月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、66.5%となっています。(平成29年5月31日現在)

	災害査定 (H28再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	243	35,125,599	239	32,485,144	31,524,281	89.7	216
漁港海岸	11	35,443,968	11	19,881,323	15,258,666	43.1	2
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	71,068,447	252	52,865,347	47,281,828	66.5	220

さっちゃんNEWS part1

<小中学校の水産教室>

各小中学校では水産教室が行われています。



◆赤崎小学校

6月9日、潮干狩りなどが行われ、磯の生物と触れました。この水産教室は、震災の影響で休止していましたが、市が整備を進めていた人工干潟が完成したことから、昨年より再開されました。



◆吉浜中学校

6月2日及び9日両日に、ホタテ養殖の体験学習が行われました。1日目は地元漁業者が講師となりホタテの生態や作業方法などを勉強し、2日目は漁港にある作業場で耳吊りを実践しました。



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成 28 年度	築いそ施設	広田湾漁業協同組合
平成 29 年度	作業保管施設 作業保管施設	綾里漁業協同組合 広田湾漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 29 年 1 月から 5 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成 29 年 (震災後)		平成 28 年 (震災後)		平成 20 年から平成 22 年の平均 (震災前)		前年比 (H29/28)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
5,585	787,721	8,952	621,570	10,259	852,262	62	127	54	92

5 月は主に、さば類(207t、15,958 千円)、いかなご(190t、26,787 千円、ぶり(67t、12,685 千円)、まいわし(60t、6,300 千円)等が水揚げされています。

さっちゃん NEWS part2

<太平洋クロマグロ資源管理への取り組み>

岩手県では、定置網漁期に入った5月中旬以降、小型クロマグロ(30kg未満)のまとまった漁獲があり、県の漁獲目安の9割に達したため放流を要請しました。本管理期間は6月で終了し、7月から第3管理期間として1年間、新たに資源管理が行われます。

定置網漁業は混獲が避けられないため、資源保護を優先し休漁すると主力魚種(サケ、サバ等)も漁獲できなくなります。そのため、マグロだけを逃がすことが可能な漁網の改良が喫緊の課題です。本県では、岩手大学や県水産技術センターなど、産学一体の取り組みが始まっています。①マグロが定置網の中で上層を泳ぐ性質を利用し、網の一部を下げる方法、②マグロが入り込めない網目を設けて定置網の内部を仕切る方法の2種について実験しています。



小型クロマグロ漁獲状況 (第2管理期間)

『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

(担当 富田)

岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp



★★★_スマイル130(いちさんまる)プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に迫っていく復興を推進する取組みです。

